

図書室を中心とした開かれた学校づくり

宇部市立厚南小学校 PTA

1、 学校地域の概要

PTA 会長	厚東 庸介
学 校 長	小野 範雄
児 童 数	557 名
家 庭 数	424 世帯
教職員数	35 名
所 在 地	〒759-0206 宇部市大字東須恵 2 3 4 TEL(0836)41-8019 FAX(0836)41-8051



< 校区の概要 >

本校は宇部市の西部に位置していて、校舎は小高い台地にある。北は西宇部校区に、西は山陽小野田市と境を接し、東は厚東川が流れ、その間に広々とした厚南平野が開けている。

もともとこの平野は、江戸時代から始まった干拓事業によってつくられたもので、かつては宇部でも指折りの農業地域であった。近年は、中小企業の進出、宅地造成により人口も急激に増加し、都市化現象を強めている。

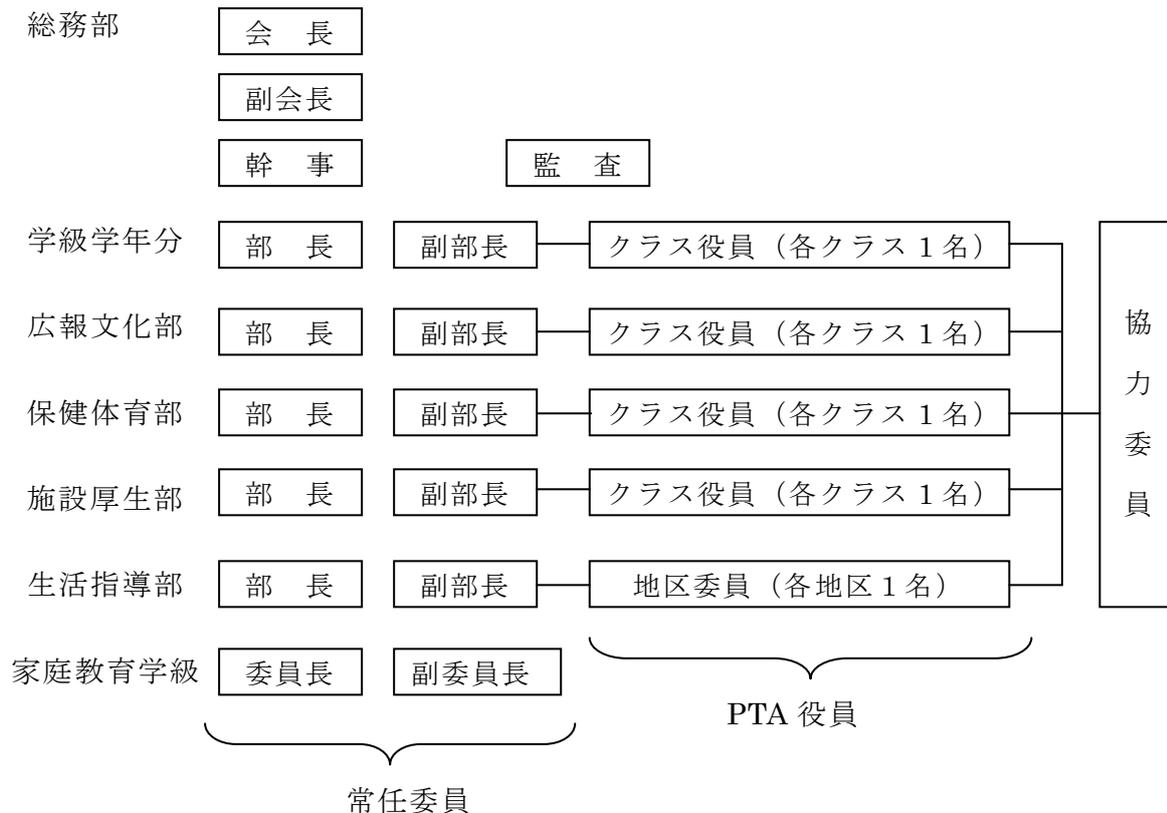
昭和 56 年大規模校化解消のため、西宇部校区が新設され、校区の一部を分離した。しかし、その後も児童数の増加が進み、平成 6 年に黒石小学校が新設され、校区の一部が黒石小学校に移った。平成 9 年度より 3 年計画で始まった校舎改築は平成 12 年に全面竣工した。校区の人々は郷土連帯意識が強く、厚南会館を中心にした隣保館及び公民館活動が盛んで、各種社会教育団体も活発な活動を展開している。保護者も学校教育に対しては、熱心で協力的である。

★チャレンジ目標

元気なあいさつ じっくり読書 天気の良い日は外あそび

2、 PTA 組織図

【厚南小 PTA 構造図】



《主な活動内容》

- 【総務部】
 - ・宇部市PTA連合会
 - ・地域（コミュニティ）行事
 - ・厚南6校連絡協議会・その他校内行事全般
- 【広報文化部】
 - ・「かけはし」年3回発行
 - ・ベルマーク集計・回収
- 【施設厚生部】
 - ・PTAバザー企画・運営
- 【学級学年部】
 - ・授業支援の窓口
 - ・しめ縄づくりのお手伝い
- 【保健体育部】
 - ・運動会への協力
 - ・持久走大会交通整理
 - ・学校保健委員会
- 【生活指導】
 - ・人権教育講演会への参加
 - ・地域との見守り・防犯活動の連携
- 【家庭教育学級】
 - ・研修会の立案・運営（年6回）

平成27年度 厚南小 PTA スローガン

チーム南小！！

おとなりく
圧倒的大人力で一致団結！！

3、 研究テーマについて

図書室を中心とした開かれた学校づくり

長期休業中には図書室を開放し、PTA や地域の方、今年度からは隣接する厚南中学校の生徒や高校生の部活ボランティアも学習の補助として来校。その他に、朝学の読み聞かせを地域の方の協力も得ながら行っている。また、学校を集いの場として来校いただくため、「チーム南小畑」を作り、さつまいもを始め秋の愛校バザーの豚汁用の野菜作りも始めた。図書室が学校の中心にあり、来校した際には、是非図書室から教室の方に足を運んでいただき、授業の様子を見学いただき開かれた学校づくりに PTA も全力で取り組みたいと考えこのテーマを設定した。

4、 活動内容

1) 読書支援を中心とした活動

① 読み聞かせ

火・金曜日の朝学（8時30分～8時45分）

PTA 協力員・地域ボランティアによる読み聞かせ

② こども新聞の貸出

学校運営協議会で、「社会の出来事に対する関心の低さ」が課題として挙げられ、改善策として図書室に「こども新聞」を置き、貸出をすることになった。

③ 図書館等支援員の協力

図書館等支援員の勤務が、週 2 日から今年度は週 4 日になり、充実した図書室運営が行われるようになった。ディスプレイを工夫し、ブックトークも行っていることから図書室が魅力的な場所になっている。

また、本についての相談に乗ってもらえる機会が多くなり、読み聞かせボランティアの方も本選びに足を運んでくれるようになった。



ブックトークに興味津津

教科書に出てくる本のコーナー



教科書に出てくるお話の作者の作品コーナー



④ 長期休業中の図書室開放

夏休み： 平日（8月10日～14日閉館）
 冬休み： 12月25・28日 1月5・6・7日
 時間： 9時～12時



夏季休業中の図書室開放では、「夏休みスキルアップタイム」と称した学習会も実施し、教職員や中・高校生ボランティア、保護者等が学習支援を行った。本を借りに来る親子や、勉強をしに来て息抜きに読書する児童もおり「規則正しい生活ができるし、行き先がわかり安心。」と保護者にも好評だった。また、「中学生や高校生のお兄ちゃん・お姉ちゃんに勉強を教えてもらえると、よくわかってやる気になる。」という児童の声も聞かれた。夏休み中は、漢字検定のための勉強会を含め、のべ700人ほどが利用した。



〈第3種郵便物認可〉

読書、宿題、親子で活字に親しむ 厚南小の図書館開放 好評 中・高生ボランティアが先生役も

厚南小（小野範雄校長）で行われている長期休業中の図書室開放が好評だ。ボランティアの中学生、高校生に勉強を教え、もらっ児童もいれば、本を読みふける児童もおり、多い日には児童、保護者合わせて100人が利用。図書室の蔵書の貸し出し増にもつながっているという。

同小では、学習時間の確保、活字離れによる読書時間減少の対策などを目的に、昨年の冬休みから長期休業中の図書室開放を始めた。時間は平日の午前9時から正午まで、3時間で、児童はもちろん保護者も一緒に利用できる。

PTAが協力するほか、中高校生ボランティアの活用など運営に工夫を凝らしている。3日は宇部鴻城高の生徒2人がボランティアで来校。宿題をしている児童が解き方を教えてもらっていた。

柴田千明教頭は「学校に行ってくれるという点は保護者にとっても安心感があり、家にいるとゲームなどに興じて勉強しないので助かるという保護者も多い。児童にとっても、友達と一緒に勉強するので進度が早く、分からないところが先生やボランティアの生徒にすぐ聞けることは心強いよ」と話した。（久保）

読書、勉強など思い思いに図書室で過ごす子供たち（厚南小で）

⑤ 「こどもの広場」横山まさこ氏による選書会

11月25日(火)

横山まさこ氏のブックトークの後、500冊以上の本の中から思い思いの本を手に取り、好きな本を3冊ずつ選んだ。選んだ子が多かった本250冊が図書室に並び、連日新書の予約に図書室に児童が詰めかけていた。

また、絵本や児童書が500冊以上並び、実際手に取って見れる機会ということで、学校だよりや校区の広報紙に案内を掲載していただき、広く参加を呼びかけた。お子さんやお孫さんの本選びの参考にと、多くの方にも来校していただくことができた。



アッチの人形を手にブックトークをする横山まさこさん



一人3枚のしおりを持ち、好きな本に挟んでいきます。



本を選び終わったら、思い思いの場所で好きな本を読みます。



選書会で選んだ本

宇部日報にも掲載

宇部日報 2015年(平成27年) 11月26日 木曜日 (日刊・祝日除く) 2

同校は11月一読書...
月間とし、読書オン...
ピックや図書郵便を...
実施。選書会は従来...
者だけが図書館で取...
り組んだ。希望の多...
かった本を

図書館に入れてほしい本を選ぶ子供たち(厚南小体育館で)

購入する。
この日は低、中、高学...
年の順番で、一校時ず...
つ選書会に充てた。本を...
準備した児童書専門店...
こどもの広場(下関市の...
横山眞佐子代表のブック...
トーク。3・4年生には...
奈良県を舞台にした不...
思議な話「菜の子ちゃん...
と龍の子」子供たちは内...
緒の遊びが載っている...
「フングリコングリ」う...
んちの正体などを紹介...
子供たちは読書に引き...
込まれ、目を輝かせた...
その後、真新しい本を...
見て回り、気に入った...
冊におおむね決めた。時...
間内余った子供たちは...
館内の好きな場所を陣...
取り、読書を楽しんだ...
探検ものなど、選書授

自分で選ぶ希望図書

厚南小、初めて全校で実施

厚南(小野龍雄校長、550人)で24日、選書会が開かれた。子供たちはブックトークを聞いた後、体育館のテーブルに並べられた500冊の中から、読みたい本を品定め、真新しい本を開く、わくわく感を味わった。

じつは竹内寛鈴さん(1年生)は「ブックトークを聞いて『菜の子ちゃん』と龍の子の続きが早く読みたい」と選書会を満喫していた。(松原)

2) チーム南小畑

厚南小学校を集いの場とするきっかけにPTAは畑づくりをはじめた。

校舎横の空き地を利用し雑草や小石の除去からはじめ耕運機で何度も掘り起し耕した。慣れない畑づくりに汗をかき手探りだったが保護者の方のアドバイスや地域の方のお知恵を頂きながら失敗や改良を重ね季節を越し実りに繋げた。収穫の際には、5, 6年生の栽培委員が収穫を体験し、形は様々だったが「学校で採れた野菜」として話題を呼び学校だよりでも紹介された。

秋には愛校バザーの豚汁用野菜としてサツマイモなどが利用され、保護者や地域の方に味わってもらった。また豊作だった野菜は給食に使ってもらい、大根が豆腐汁に、里芋がのっぺい汁に登場し多くの児童の口に届いた。

この畑は4年生のへちまやヒョウタンなどの授業にも活用することとなった。



集いの場として「チーム南小畑」を作る会長・副会長・幹事



児童に話題を呼んだ「歩いているニンジン」



抜いた大根は給食室に持っていきました。



豚汁用の野菜を収穫後に植えた、冬野菜の白菜・キャベツ

3) 地域と連携した活動

○PTA 環境整備

8月22日(土)

暑い中、早朝から保護者・地域の方の協力により、校地内がきれいに整備され、安全・快適な環境のもとで2学期を迎えることができた。

○愛校バザー

11月14日(土)

毎年、「南小祭」に合わせ、飲食やバザー部門をPTAが担当して活動している。総務部が担当している焼き物部門(焼き鳥・焼きとうもろこし)は地域の方にもお手伝いいただくことができた。また、厚南中の女子生徒12名がボランティアに来てくれました。アトラクション部門(バルーンアート)が終わるころには、中学生も上手にバルーンを作成していた。

同じく総務部が担当する豚汁コーナーでは、「チーム南小畑」で収穫したサツマイモ・ニンジン・サトイモを使った豚汁を振る舞った。



南小畑の野菜を使った豚汁の販売

焼き鳥を販売する中学生



バルーンアートを上手に作る中学生

地域の方と焼き鳥を焼く協力員のお父さん



○厚南中学校区一斉「さわやかあいさつデー」

12月8日(火)

3校(厚南中・西宇部小・厚南小)一斉に、朝のあいさつ運動を行った。

中学生は小学校の通学路に、小学生は隣接する中学校に行きあいさつ運動をすると共に、保護者や地域の方にも呼びかけ、地域全体であいさつをかわすことができた。



○しめ縄事前準備 藁すき

12月13日（日）

学級学年部を中心に、しめ縄用の藁すきを行っています。すいた藁を30本ずつ束ねたり、お飾りのエビに針金を通したり、地域の方と一緒にしめ縄準備を行います。今年度は児童もお手伝いに参加してくれました。



○しめ縄作り

12月19日（土）

約150名が本校体育館に集まり、しめ飾りを作った。ご指導くださった地域の方、お手伝いしてくれた中学生ボランティアの手を借りながら、子どもたちがしっかり縄をなって、立派なしめ飾りを作り上げていた。



○厚南ゆめ広場

1月10日（日）

ふれあい体験事業として、平成8年から「厚南ゆめ広場」と称し、厚南コミュニティを中心に厚南小学校のグラウンドにてどんど焼きを実施している。12月に作成したしめ縄を持参し燃やしている姿も見受けられた。PTAは、実行会議から参加し、当日は受付を担当し、福引券の配布やスタンプラリーの景品交換等を行っている。



○見守り隊の方々のお礼の会

1月13日（水）

毎日児童の登下校を見守って下さっている「見守り隊」の方をお招きして、お礼の会を行った。その後、児童は地区ごとに並んで下校する予定だったが天候不良のため、一斉下校した。



5、成果と課題

<成果>

この度、厚南小学校を集いの場としてさらに多くの方にご来校いただくため、以下の2点に注力し活動を行った。

まず、長期休業中、PTAや地域の方々に向け本校の図書室を開放し積極的に利用して頂いた。また、今年度より隣接する厚南中学校の生徒や近隣の高校生の部活ボランティアには、児童の学習のサポートをして頂いた。その他にも、朝学の読み聞かせを地域の方の協力を得ながら行ってきた。その結果、昨年度に比べ図書室に足を運ぶ児童が増え、図書室の貸出冊数が倍増（約6000冊→約12000冊）している。

次に、「チーム南小畑」を作り、さつまいもをはじめ秋の愛校バザーでの豚汁用の野菜作りも行い、小学校で採れた野菜を利用し話題を呼んだ。

このように図書室を学校の中心に置いた開かれた学校づくりをテーマに掲げ活動を行い、またご来校頂いた方には、なるべく図書室から教室の方にも足を運んで頂き、授業の様子を見学して頂くことで、保護者はもちろん、地域の方々にもより一層厚南小学校を身近に感じて頂けるような工夫を施した。

<課題>

家庭での読書について、児童の肯定率は昨年度63%→今年度70%、保護者の肯定率は昨年度44%→今年度51%と、少しずつではあるが上昇してきている。今後も家庭と一体となった読書習慣づくりに努めて、定着を図りたい。

12月に実施された学校評価で、あいさつについて児童の肯定率87%、保護者79%、教職員50%と意識のずれがあった。また、学校運営協議会でも、温かい言語環境づくりには、家庭・地域での温かい声かけが必要であり、そのためにはまずあいさつからと意見が挙がった。そこで、厚南中学校区一斉「さわやかあいさつデー」を実施したが、家庭・地域との連携した一層の取り組みが必要である。

学校運営協議会で、保護者と地域の連携が希薄との意見が挙がっていた為、各地区から役員になっているPTA生活指導部が中心となり、子ども110番の家への依頼あいさつや児童公園の安全確認等を実施し、「見守り隊の方々のお礼の会」も行った。登下校時の見守り隊や子ども110番の家について、児童・保護者に一層の周知が必要。